

シカ捕獲プロフィール

(北海道局) 根釧東部森林管理署

1. 署の基本情報

① 署の基礎的情報

管内面積	106,051.02ha		
シカ生息密度	5頭/km2以上10頭/km2未満		
管内市町村数	5		
	R3	R4	R5
更新面積	72.11ha	49.71ha	75.09ha
人工造林面積	72.11ha	49.71ha	75.09ha
シカによる森林被害面積	2.85ha	0.04ha	21.73ha
うち、人工林被害面積	2.35ha	0.04ha	21.73ha

※

④ 協定・協議会数

			R3	R4	R5
わな貸出	協定 協議会	鍵貸与 除雪等 その他			
その他	協定				1
	協議会		3	3	3

② 署のシカ捕獲等対応体制

担当職員	次長 森林技術指導官			
	R3	R4	R5	
全職員数	28人	28人	27人	
わな講習受講者数	2人	2人	2人	
狩猟免許所持職員数	0人	0人	0人	

③ 捕獲実行形態

		R3	R4	R5
職員実行				
委託事業		○	○	○
わな貸出	協定 協議会			
その他	協定			
	協議会			

⑤ 捕獲の方法、実施時期

・ 捕獲の方法		R3	R4	R5
改良型わな等	小林式 こじゃんと その他			
くくりわな				
囲いわな		○	○	○
銃(モバイルカリング等)				
・ 捕獲実施時期				
職員実行				
委託事業		12~2月	1~2月	1~3月
協定				

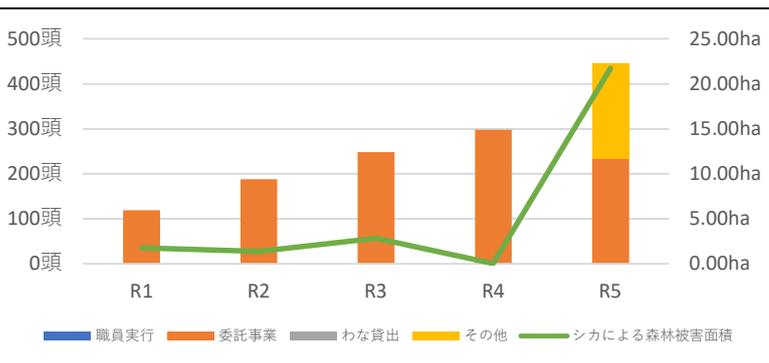
⑥ 捕獲以外の被害対策

シカ防護柵実施有無	無
シカ忌避剤使用有無	無

※令和5年度検証試験地設定。

2. 捕獲頭数とシカによる森林被害面積の推移

★森林被害対策のワンポイントアピール



●エゾシカ捕獲に関する自治体との協定の締結

根室市の海岸部の森林は国有林を含めエゾシカの越冬地となっていますが、地形が平坦なためバックストップの関係や法令制限などにより銃猟禁止区域が多く、一度に複数頭を捕獲できる大型囲いわなは有効な捕獲方法であります。

根釧東部森林管理署では、大型囲いわなで捕獲を平成26年度より実施しており、累計捕獲数は令和5年度末時点で約1,600頭となっています。

エゾシカによる農林業被害は以前高水準で推移していることから、地域一体でのエゾシカ被害対策推進に向け、自治体とエゾシカ捕獲に関する協定を締結し、国有林がフィールドを提供、自治体が大型囲いわなによる捕獲を実施しています。(捕獲頭数211頭)

また、地域関係者などと調整を図るなかで、自治体が行うエゾシカ有害駆除や猟友会が行う若手ハンター育成狩猟にも協力しています。

		R1	R2	R3	R4	R5
捕獲頭数	職員実行					
	委託事業	119頭	188頭	248頭	298頭	234頭
	わな貸出					
	その他					211頭
	計	119頭	188頭	248頭	298頭	445頭
シカによる森林被害面積		1.78ha	1.40ha	2.85ha	0.04ha	21.73ha

※ シカによる森林被害面積は、森林被害年報における実損面積です。

3. 署長が語る

○根釧東部署管内の取組について

管内はエゾジカがいたるところに生息しており、特に世界自然遺産の知床地区や太平洋側の根室半島には多く生息しています。この根室半島は、冬期に雪の多い山間部から雪の少ない太平洋岸に移動してくるエゾジカが集まることから、委託による捕獲事業を実施しており、大型の囲いわなを用いて積極的に捕獲を進めています。

また、捕獲事業以外にも根室市や羅臼町との被害防止対策協議会や地域の情報交換会等に参加し、被害防止対策に取り組んでいるところです。

○今後の被害防止対策について

エゾジカによる被害防止として捕獲を道、市町村、国が積極的に取り組んでいるところですが、生息数は高水準で推移している状況です。それに合わせて農・林業被害も増加していることから、被害防止対策をこれまで以上に効率的・効果的に行っていく必要があると考えています。

効率的・効果的な被害防止を進めるためには、「捕獲」と「食害防止対策」を同時に取組むことが重要と考えています。捕獲圧を高めることは被害の防止につながるものですが、単に捕獲をできればよいものではなく、実際に林業・農業被害が発生箇所（新植地、畑）の周辺で捕獲圧を高めることが重要です。また、同時に防護柵の設置や忌避剤等による食害防止対策を講じることが必要であり、どちらが先ではなく一緒にやるのがより効果的な被害の防止につながるものと考えています。

捕獲を進めるためには、現在、猟友会に頼っているところですが、狩猟会のメンバーの高齢化や減少により、捕獲数の増加は難しいところです。また、個々の地域のみで捕獲を実施しても、移動するエゾジカに対しては効果的な捕獲になりません。このため、ICTを活用した捕獲技術の開発や周辺地域と一緒に行う一斉捕獲、エゾジカの有効活用を積極的に実施する必要があると考えています。この捕獲したエゾジカをジビエ等に有効利用は、積極的な捕獲につながるものと期待され、現在、当署が実施している委託による捕獲事業の契約者は幸いにもジビエの食肉加工を行っている事業者が落札しており、事業者は常に効率的な捕獲方法を模索しチャレンジしており、捕獲数も増加しているところです。

食害防止対策としては、当署は苗木の被害があまり多くないことから防護柵などの設置はしていませんが、部分的な被害の発生のため、忌避剤による食害被害対策を令和5年度より試行的に実施しており、忌避剤を散布した苗木の被害が少ない結果も出ています。この成果は地域の方々に広げていきたいと考えています。

なお、本州で発生している重大な被害地がないことから、防護柵や単木保護等の防止対策のノウハウが少ないことから、当署職員や地域の担当者と連携し、効果的な防護対策の現地検討会や勉強会等も実施していきたいと考えています。

管内の被害は本州と比べあまり多くない状況ですが、今後、被害の拡大が危惧されることから、今こそ積極的な被害防止対策をやる必要があると考えています。根釧地域の関係機関と連携を図り、一緒に取組めるよう当署として、様々な機会を通じて情報共有や発信を行って行きたいと考えています。

署長：鷹野 孝司（令和6年4月1日～）
R1 四国局 森林技術・支援センター所長
R4 四国局 森林整備課長
R6 現職



4. 委託事業

① 基本情報・トピック

応札者数 1 (1事業あたりの平均)

★目標頭数の決め方

・前年度実績を基準に目標頭数を決めています。

② 特記仕様書での工夫

・エゾシカを大型囲いわなや餌に慣れさせるため、給餌を捕獲開始前から行い、誘引状況等から餌の量及び頻度を調整しています。

・捕獲個体は生体捕獲とし、食肉加工業者の運搬車が走行できる公道まで不整地運搬車によりエゾシカを運搬して、食肉利用拡大を図っています。

③ 委託実行の流れ

実施期間・時期の決定

・エゾシカ生息調査を4月～3月、大型囲いわな設置、事前誘引を11月、12月、越冬のため集団化する1月～3月を捕獲期間に設定しています。

実施場所の決定

・シカの目撃が多い場所など効率的に捕獲、運搬が可能な場所を選定しています。

わなの設置

・単管パイプと木材を組み合わせた大型囲いわなで、落とし扉はICT自動捕獲装置を設置しています。また、監視カメラの設置及び夜間確認用に赤外線投光器を設置しています。

見回り

・方 法: 特殊作業員、普通作業員により実施
・作業時間: 40分/回・55分/回
・作業人数: 0.5人/回(各作業員)

止めさし

・生体利用のため実施していません。

処理・埋設

・施設処理を希望する食肉加工施設へ引き渡しています。



大型囲いわな

わなの設置数: 2箇所 捕獲実施期間(わな設置日数): 91日



大型囲いわなで捕獲したエゾシカ

前年度の実績(森林被害面積抑制、捕獲頭数増加)をさらに伸ばすために予定していること

・特にありません。

5. その他(協定・協議会)

① 基本情報

管内市町村数

5

協定締結数

協定相手方

② 協定・協議会裏話

協定締結、協議会発足等にいたるキッカケ

市から関係行政機関へ協議会発足の打診がありました。

協定締結まで、協議会の運営で苦労した点

協議会参画数

8

協議会相手方

根室市、農協、猟友会、JR、農業改良普及センター、北海道根室振興局、警察署

協定締結や協議会運営で工夫した点

③ 協定、協議会関係図(一例)

協議会の名称	根室市鳥獣被害防止対策協議会
構成機関の名称	役割
根室市	総括的な運営・連絡調整
農協	農業被害の把握と農業者との連絡・調整
猟友会	有害鳥獣捕獲と関連情報の提供
根室農業改良普及センター	被害防除の指導・助言
根釧東部森林管理署	国有林内での捕獲協力・被害防除の指導・助言
北海道旅客鉄道(株)根室駅	鉄道列車追突事故等の被害防止・対策の実施
北海道根室振興局	健康被害防止、有害鳥獣被害や漁業被害防止、観光等に関する情報提供、指導・助言と広域的調整
根室警察署	鳥獣被害対策(エゾシカ交通事故)



令和5年度協議会開催の様子。

当署から、捕獲頭数実績や国有林での捕獲実施対応等の情報提供を行っています。

協定相手方、協議会参画者からの声

・地域の農林業被害の軽減に向け、引き続きエゾシカ捕獲継続の要望がありました。

前年度の実績(森林被害対策、捕獲頭数)をさらに伸ばすために予定していること

・根室市とエゾシカ捕獲に関する協定を締結し、根室市が国有林内で大型囲いわなによる捕獲を実施しています。また、銃によるハンター育成を兼ねたエゾシカ有害駆除のフィールドとして国有林を提供しています。